

平成27年度事業報告書

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

公益財団法人日本プロスポーツ協会

事業報告

1. 事業の成果

1-1 事業の経過及びその成果

当年度の事業活動は、従来からの主要事業である「内閣総理大臣杯日本プロスポーツ大賞授賞式典」の拡大充実に努め、費用の削減を徹底することで当期経常増減額の確保に努めてまいりました。

この結果、当年度の業績につきましては、経常収益では 50,166 千円を計上し、当期経常増減額△2,850 千円となりました。

1-2 事業の総括と今後の方針

12月 25日に第48回内閣総理大臣杯日本プロスポーツ大賞授賞式典及び懇親パーティーを開催いたしました。

当事業では、7企業の協賛金と1企業の寄付金、加盟14団体の分担金により、出席者が450名を超える規模で開催することができました。

当協会は、2014年4月1日に公益法人制度改革に基づく公益認定を受け「公益財団法人日本プロスポーツ協会」として2年目の年度を終了いたしました。

今後も公益目的事業に沿う法人運営を再度認識しプロスポーツの普及発展と国民の皆様にも明るい話題を提供できるように尽力する所存でございます。

2. 事業の概況

2-1 プロスポーツの振興に功績のあったものに対する表彰

「2015年第48回内閣総理大臣杯日本プロスポーツ大賞授賞式典及び懇親パーティー」

《授賞式典》

日 時	2015年12月25日(金)	午後5時～6時30分
会 場	グランドプリンスホテル新高輪	

《懇親パーティー》

日 時	同日	午後7時～8時30分
会 場	同ホテル	

《受賞者》

- | | | | | |
|---------|---------|--------------|-------|-------|
| ● 大賞 | ラグビー | ラグビー日本代表 | | |
| ● 殊勲賞 | プロ野球 | 福岡ソフトバンクホークス | | |
| ● 最高新人賞 | プロ野球 | 山崎 康晃 | | |
| ● 功労賞 | 大相撲 | 照ノ富士 春雄 | ● 新人賞 | — |
| | プロ野球 | — | | 山崎 康晃 |
| | 男子プロゴルフ | 長田 力 | | 伊藤 誠道 |
| | 女子プロゴルフ | 栗西 鈴香 | | 堀 琴音 |
| | Jリーグ | 坂田 信久 | | 浅野 拓磨 |

プロボクシング	石田 順裕	大森 将平
プロボウリング	藤元 良一	寺下 智香
スーパーフォーミュラ	石浦 宏明	小林 可夢偉
競技ダンス	長谷波 陽子	松岡 憲昭 松岡 有紀
中央競馬	戸崎 圭太	石川 裕紀人
地方競馬	向山 牧	中島 龍也
競輪	新田 祐大	小林 優香
オートレース	濱野 淳	益 春菜
ボートレース	山崎 智也	村上 遼
キックボクシング	江幡 塁	瀧澤 博人

2-2 ユニセフ募金活動への協力

公益財団法人日本ユニセフ協会（東京都港区 赤松良子会長）が主催する毎年恒例の募金活動に当協会の島村会長をはじめ、理事、評議員、加盟団体関係者及び事務局員が参加協力した。

ユニセフ「ハンド・イン・ハンド」募金は、世界の危機に瀕している子供たちを守り、幸せな未来を実現するための、募金キャンペーンである。

主 催	公益法人日本ユニセフ協会
募金活動名	ユニセフ「ハンド・イン・ハンド」募金
開 催 日	平成27年12月5日（土）
場 所	JR有楽町駅前広場

2-3 ユニセフ・ラブウォーク中央大会への協力

「栄養不良から小さな命を守ろう！」をテーマに毎年継続実施されている募金イベント、「ラブウォーク」の参加費一部が「1000日間の栄養支援」などの子供たちの命と未来を守る活動に活用されている。

当協会は、本イベントの主催組織である「日本ユニセフラブウォーク協議会」の会員であり当年もこの活動に協力した。

● 役員会等に関する事項

1. 理事会を次のとおり開催した。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1) 平成27年度定時理事会（書面決議） | 平成27年6月12日 |
| 2) 平成27年度定時理事会（書面決議） | 平成27年12月11日 |
| 3) 平成27年度定時理事会（書面決議） | 平成28年3月30日 |

2. 評議員会を次のとおり開催した。

- | | |
|----------------|------------|
| 1) 平成27年定時評議員会 | 平成27年6月26日 |
|----------------|------------|

以 上